



学校・地域コーディネーター研修・交流会

令和2年度以降養成講座受講者対象

「地域学校協働活動の“これから”をつくる私たち」

令和8年5月29日(金)



★
本日の

学校・地域コーディネーター研修の流れ



導入

今日のねらい

- ☒ これまでを振り返る
- ☒ 視点を共有する
- ☒ 協働の在り方を考える
- ☒ 交流を深める

講義

国・市の動向



- 市教委事務局より
- これまでを振り返る



推進員に求められる視点

○ 子どもの成長

○ 地域とのつながり

○ 学校への貢献（ニーズ）

○ 自分の学び

○ 活動の意義

ワーク

交流ワーク



「つなぐ」「育てる」

関係性のデザイン

地域の多様化

まとめ

★ まとめ・次につなげる

★ 今日の気づき

● 明日からの一歩

● 地域と学校の物語づくり

● 情報交換

令和2年度～令和7年度（2020～2025年）の主な出来事

“コロナ禍～アフターコロナ”の変化が大きい時期を思い出すキーワード



社会・生活



教育・学校



地域・協働の動き

2020年：新型コロナウイルス感染拡大、緊急事態宣言

2020年：休校・オンライン授業の急拡大

オンライン会議・オンライン地域活動が一般化

2021年：ワクチン接種が全国で本格化

2021年：GIGAスクール端末が全国で整備

地域学校協働本部の機能強化（文科省の重点施策）

2022年：行動制限が段階的に緩和

2022年：学校行事の縮小→再開へ

子ども食堂・地域学習支援の広がり

2023年：マスク着用ルールが個人判断へ

2023年：ICT活用授業が定着

防災・福祉・子ども支援の多機関連携が進む

2024年：物価高騰が社会課題に

2024年：教員不足が社会問題として注目

地域行事が“リアル＋オンライン”のハイブリッドへ

2025年：大阪・関西万博

2025年：生成AIの学校活用ガイドライン整備が進む

横浜教育ビジョン

2006～2018

初代ビジョン



教育のまち 横浜

2018～2030

横浜教育ビジョン2030



未来志向の教育

横浜市教育振興基本計画

第1期 2010～2013

第2期 2014～2017

第3期 2018～2021

第4期 2022～2025

第5期 2026～2029

初代ビジョン期



ビジョン2030期

推進員の役割の変遷と成長ストーリー

2006



つなぐ人

2007～2011



協働をつくる人

2012～



関係を育てる人

2018



未来を描く人

2018～現在



共創を進める人

つなぐ → 支える → 広げる → 創る → 共創する



社会教育的な

活動の価値づけワーク

～活動を続けるために～



今日のゴール

子ども



地域



活動の価値を
“見える化”する

活動
そのもの



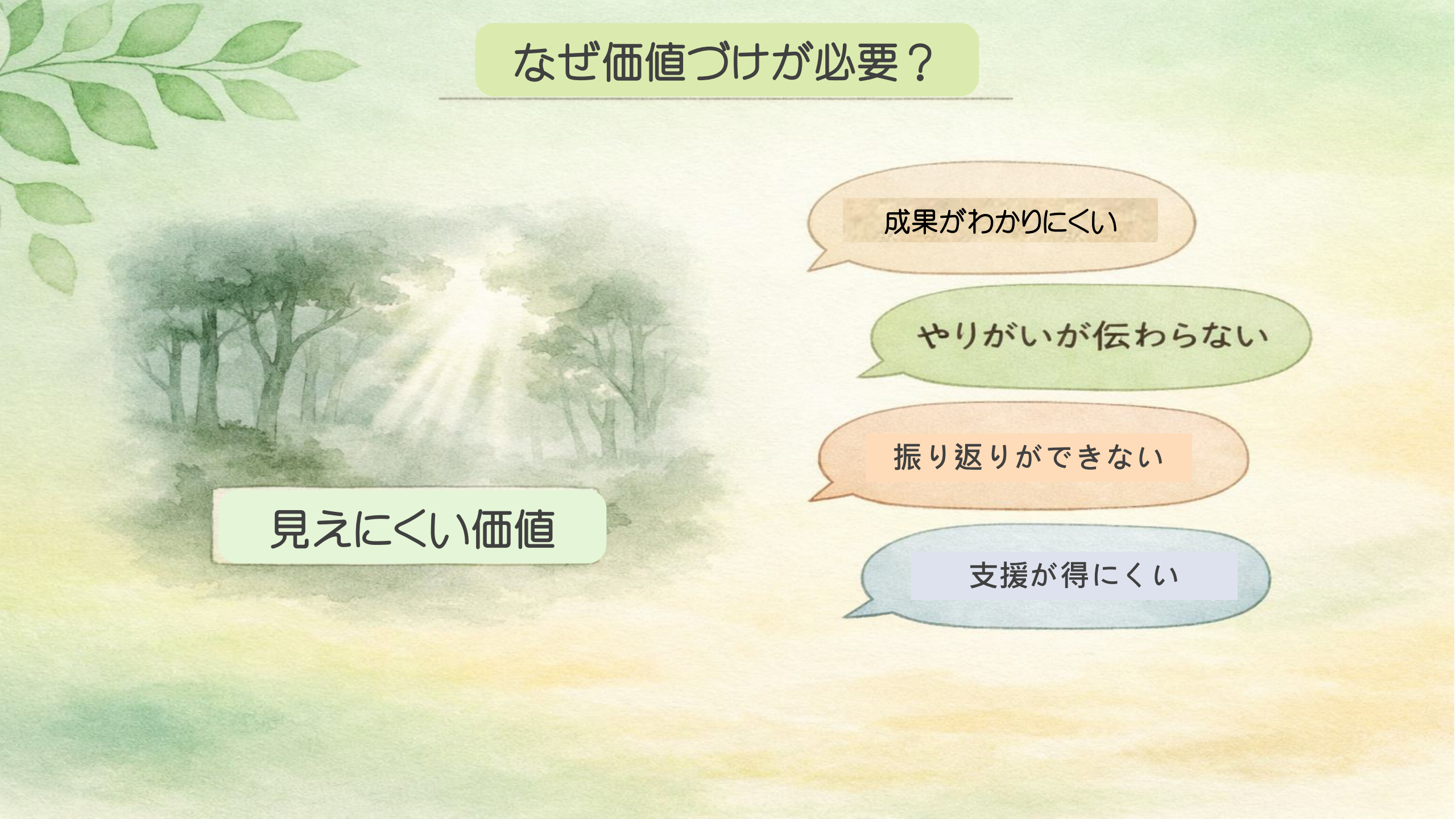
学校



自分



なぜ価値づけが必要？



見えにくい価値

成果がわかりにくい

やりがい伝わらない

振り返りができない

支援が得にくい

5つの価値の視点



見えにくい価値



子どもの成長 地域とのつながり 学校への貢献



自分の学び



活動の意義

活動を価値づけるワークシート

① 活動の事実 (Fact)

- ・どんな活動？
- ・誰と？
- ・どこで？
- ・どのくらいの時間？

② 活動の意味 (Meaning)

- ・子どもの変化
- ・地域の反応
- ・学校への影響
- ・自分の手応え

③ 活動の価値 (Value)

- ・この活動が生み出した価値は？
- ・誰に届いた？
- ・どんな未来につながる？

④ 自分の役割 (Role)

- ・活動の中で果たした役割は？
- ・自分の強みは？

⑤ 次につながる一歩 (Next Step)

- ・価値を広げるためにできること
- ・明日からの小さな一歩

🌻 選ぶだけで価値づけできるチェックシート（価値語チェック式）

① 子どもに生まれた価値

- ☐ 自信 ☐ 安心 ☐ 主体性
- ☐ 挑戦 ☐ 協力 ☐ つながり
- ☐ 居場所 ☐ 好奇心 ☐ 表現
- ☐ 気づき ☐ 成長 ☐ 前向きさ
- ☐ 自己肯定感 ☐ 学びの広がり
- ☐ その他：_____

② 地域に生まれた価値

- ☐ 交流 ☐ 理解 ☐ 信頼
- ☐ 協働 ☐ 参加 ☐ 活気
- ☐ 誇り ☐ 孤立の軽減 ☐ 支え合い
- ☐ 関係性の再生 ☐ 開かれた雰囲気
- ☐ 役割の創出 ☐ 世代間のつながり
- ☐ その他：_____

③ 学校に生まれた価値

- ☐ 負担の軽減 ☐ 視点の広がり
- ☐ 外とのつながり ☐ 安心できる協力関係
- ☐ 子どもの新しい一面の発見
- ☐ 教員の気づき ☐ 学校の信頼向上
- ☐ 地域との協働文化 ☐ 多様な学びの創出
- ☐ その他：_____

④ 推進員自身に生まれた価値

- ☐ 手応え ☐ 成長 ☐ 気づき
- ☐ 自信 ☐ 役割の明確化
- ☐ 強みの発見 ☐ 人とのつながり
- ☐ やりがい ☐ 視野の広がり
- ☐ 自分らしさ ☐ 伴走する力
- ☐ 調整力 ☐ 観察力 ☐ 寄り添う姿勢
- ☐ その他：_____



⑤ 活動そのものが生み出す価値（✓）

- ☐ つながりの創出 ☐ 関係性の構築
- ☐ 協働の土台づくり ☐ 安心できる場づくり
- ☐ 多様性の受容 ☐ 対話の促進
- ☐ 地域資源の活用 ☐ 参加のきっかけづくり
- ☐ 小さな成功体験 ☐ 継続の仕組みづくり
- ☐ 未来への種まき
- ☐ その他：_____

🌿 まとめ（価値語を選んだ後に書く）

【この活動で特に大きかった価値】

（上で✓した語の中から3つ選ぶ）

1. _____
2. _____
3. _____

【その価値は誰に届いていた？】

• 子ども／地域／学校／自分／その他：_____

【その価値が未来につながる理由】



まとめ・次の一歩

- 今日の対話で見えてきたこと
- 自分の活動に活かしたい気づき
- 次に試してみたいこと・行動の一歩

A light blue speech bubble with a rounded rectangular body and a small tail at the bottom left. It contains five horizontal dashed lines for writing.A solid yellow rectangular area with rounded corners, intended for a sticky note or additional notes.A white rectangular area with rounded corners, featuring a spiral binding at the top and ten horizontal dashed lines for writing.



小さな変化が、大きな価値につながる

今日の気づきを明日の活動へ

